



GLOBAL
NATURE
POSITIVE
SUMMIT
2026
KUMAMOTO JAPAN

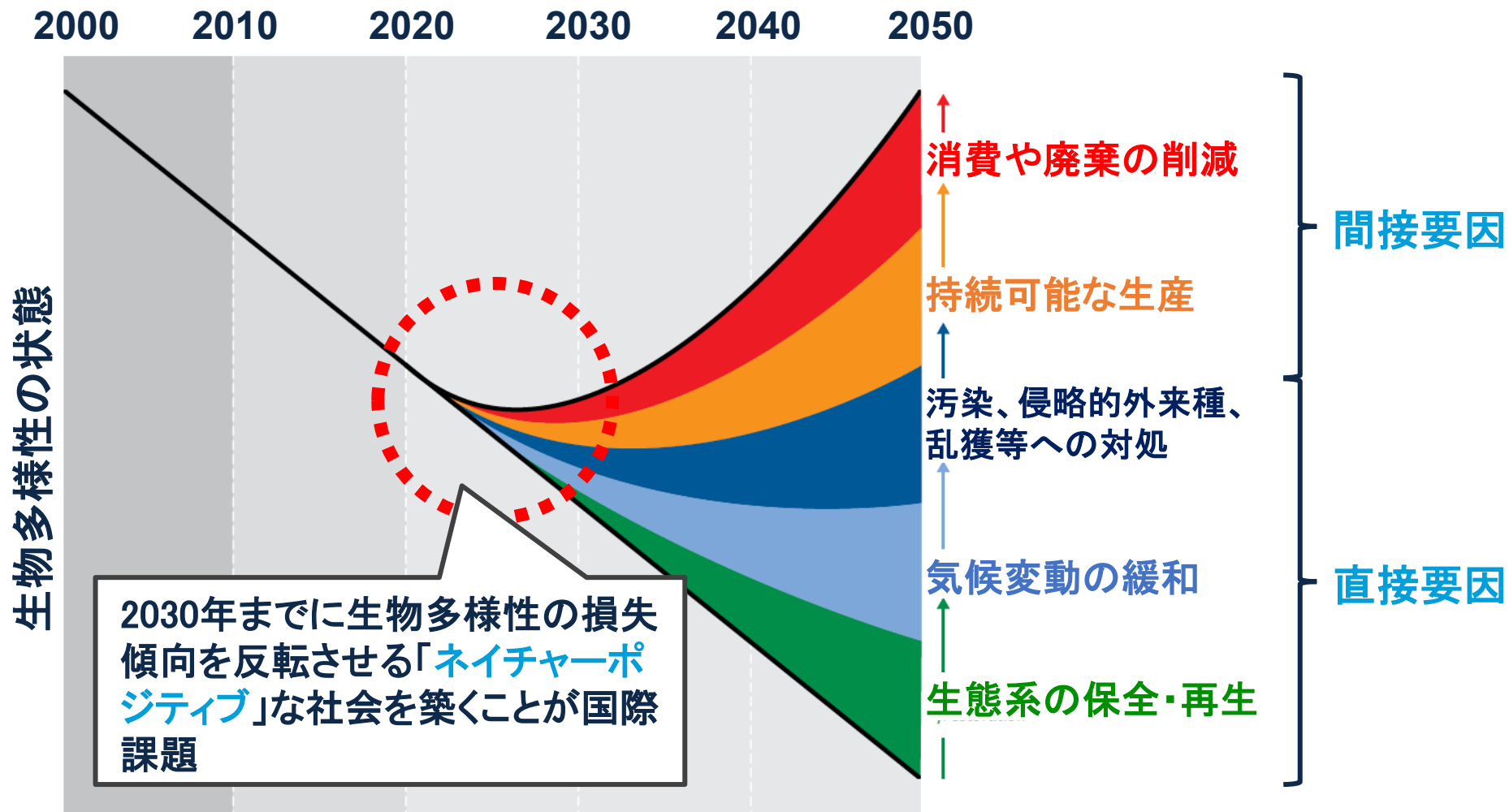
ネイチャーポジティブな地域社会への 転換に向けた取り組みの最前線

— 佐渡・南三陸の事例より —

- (共催) 一般社団法人イクレイ日本
環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題(S-21)
公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
- (後援) 佐渡市
南三陸町
一般社団法人 サステナビリティセンター

新しい生物多様性保全

生物多様性の損失を減らし、
回復させるためには分野横断的な努力が不可欠



生物多様性条約昆明・モントリオール生物多様性枠組

2050年までの目標

2050年ビジョン 自然と共生する世界

2050年ゴール

- A**
- 生態系の健全性、連結性、レジリエンスの維持・強化・回復。自然生態系の面積増加
 - 人による絶滅の阻止、絶滅率とリスクの削減。在来野生種の個体数の増加
 - 遺伝的多様性の維持、適応能力の保護

- B** 生物多様性が持続可能に利用され、自然の寄与（NCP）が評価・維持・強化

- C** 遺伝資源、デジタル配列情報（DSI）、遺伝資源に関連する伝統的知識の利用による利益の公正かつ衡平な配分と2050年までの大幅な増加により、生物多様性保全と持続可能な利用に貢献

- D** 年間7,000億ドルの生物多様性の資金ギャップを徐々に縮小し、枠組実施のための十分な実施手段を確保

農林水産業

都市緑地・
親水空間

2030年までの目標

2030年ミッション 自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させるための緊急の行動をとる

2030年ターゲット

(1) 生物多様性への脅威を減らす

- すべての地域を参加型・統合的で生物多様性に配慮した空間計画下及び/又は効果的な管理プロセス下に置く
- 劣化した生態系の30%の地域を効果的な回復下に置く
- 陸と海のそれぞれ少なくとも30%を保護地域及びOECMにより保全（30 by 30目標）
- 絶滅リスクを大幅に減らすために緊急の管理行動を確保、人間と野生生物との軋轢を最小化
- 乱獲を防止するなど、野生種の利用等が持続的かつ安全、合法的なものにする
- 侵略的外来種の導入率及び定着率を50%以上削減
- 環境中に流出する過剰な栄養素の半減、農業及び有害性の高い化学物質による全体的なリスクの半減、プラスチック汚染の防止・削減
- 自然を活用した解決策/生態系を活用したアプローチ等を通じた、気候変動による生物多様性への影響の最小化

(2) 人々のニーズを満たす

- 野生種の管理と利用を持続可能なものとし、人々に社会的、経済的、環境的な恩恵をもたらす
- 農業、養殖業、漁業、林業地域が持続的に管理され、生産システムの強靱性及び長期的な効率性と生産性、並びに食料安全保障に貢献
- 自然を活用した解決策/生態系を活用したアプローチを通じた、自然の寄与（NCP）の回復、維持、強化
- 都市部における緑地・親水空間の面積、質、アクセス、便益の増加、及び生物多様性を配慮した都市計画の確保
- 遺伝資源及びデジタル配列情報（DSI）に係る利益配分の措置をとり、アクセスと利益配分（ABS）に関する文書に従った利益配分の大幅な増加を促進

(3) ツールと解決策

- 生物多様性の多様な価値を、政策・方針、規制、計画、開発プロセス、貧困撲滅戦略、戦略的環境アセスメント、環境インパクトアセスメント及び必要に応じ国民勘定に統合することを確保
- 事業者（ビジネス）が、特に大企業や金融機関等は確実に、生物多様性に係るリスク、生物多様性への依存や影響を評価・開示し、持続可能な消費のために必要な情報を提供するための措置を講じる
- 適切な情報により持続可能な消費の選択を可能とし、食料廃棄の半減、過剰消費の大幅な削減、廃棄物発生的大幅削減等を通じて、グローバルフットプリントを削減
- バイオセーフティのための措置、バイオテクノロジーの取り扱いおよびその利益配分のための措置を確立
- 生物多様性に有害なインセンティブ（補助金等）の特定、及びその廃止又は改革を行い、少なくとも年間5,000億ドルを削減するとともに、生物多様性に有益なインセンティブを拡大
- あらゆる資金源から年間2,000億ドル動員、先進国から途上国への国際資金は2025年までに年間200億ドル、2030年までに年間300億ドルまで増加
- 能力構築及び開発並びに技術へのアクセス及び技術移転を強化
- 最良の利用可能なデータ、情報及び知識を、意思決定者、実務家及び一般の人々が利用できるようにする
- 先住民及び地域社会、女性及び女兒、こども及び若者、障害者の生物多様性に関連する意思決定への参画を確保
- 女性及び女兒の土地及び自然資源に関する権利とあらゆるレベルで参画を認めることを含めたジェンダーに対応したアプローチを通じ、ジェンダー平等を確保

ビジネス

消費・廃棄

適切なインセンティブ

データ・知識の整備・利用

意思決定への参画

昆明・モンリオール生物多様性枠組のキーワード



Whole-of-Government

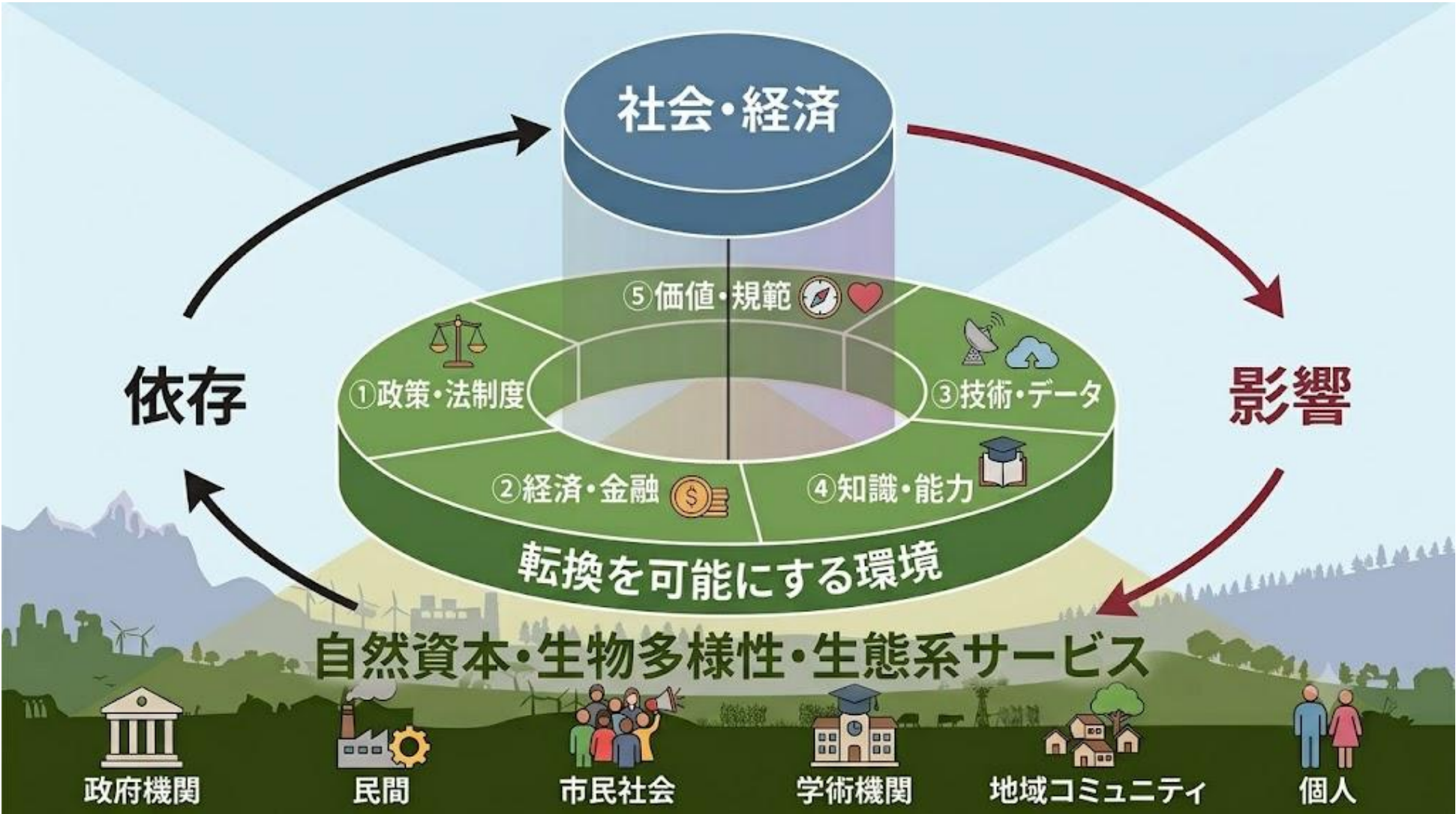
単一の省庁・部局だけでなく、**政府内の複数の機関・部門が連携し、統合的に政策を形成・実施**



Whole-of-Society

政府機関だけでなく、民間、市民社会、学術機関、地域コミュニティ、個人等を含めた**社会のあらゆる関係者が協働して課題に取り組む**

自然資本・生物多様性・生態系サービスへの依存・影響



ネイチャーポジティブな社会・経済への転換に向けて

自然に悪影響を与える
活動の縮小

ネイチャーポジティブな
アウトカム

自然に良い影響を与える
活動の拡大

ネイチャーネガティブな
アウトカム

知識

既存慣行を再構築し、意思決定を支援
するための実践的データや知識の創出

パネルディスカッションの論点

論点1: 地域における「転換」の実践と障壁

- 転換が地域でどのように実践されてきたのか？
- どのような障壁があったか？
- どのようにして乗り越えることができたのか？

論点2: 鍵となる主体・つながりと新たな機会

- 転換の鍵となった出来事や主体・関係者の活動？
- 転換を通じて生まれた新たなつながり、新たなビジネス機会？
- それらは地元ではどのように評価/受け止められているか？